

第452回 番組審議会

1. 日 時 平成22年 3月16日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 13名

出席委員 12名

出席委員	委員長	橋田 純一
	副委員長	佐藤 晴久
	委員	嶋村 正
	委員	上野 克幸
	委員	清野 雅子
	委員	森本 雅司
	委員	宮 勉
	委員	千葉 幸長
	委員	望月 善次
	委員	福田 泰司
	委員	坂本 修
	委員	柴田 和子

欠席委員	委員	安藤 茂
------	----	------

社側出席者	矢後 勝洋(代表取締役社長)
	石井 修平(専務取締役)
	阿部 孝夫(常務取締役)
	淵沢 行則(報道制作局長)
	野田 喜代志(報道制作局次長兼制作部長)
	原 浩平(東北映像ディレクター)

事務局	山信田 寧(編成技術局長)
	畠 義真(編成技術局編成部長)

4. 議 題

1. 元気一番生テレビ

2月20日(土) 10:30~11:25 放送

2. その他ご覧になった番組についてのご意見

5. 資 料

資料として以下のものを配布

- ・ 視聴者からのご意見

6. 議事の概要

委員側意見

- ・ 科学・芸術・伝統文化・食文化・生活文化と多岐にわたって次々と展開があり、あっという間に1時間で楽しませてもらった。
- ・ 東北6県と新潟を同時ネットで結ぶ番組で、各県の現況を見ることができ興味深く見た。
- ・ いくつかのコーナーがあり、この番組の定番の構成のようだったが、それぞれ地域の特徴が出ていたと思う。
- ・ 番組のコンセプト、趣旨がよく理解できなかった。率直に言ってちょっとバラバラ感が強いと思った。
- ・ 1時間で東北6県プラス新潟県を、ある程度濃淡をつけて紹介するのは情報過多になり難しいと思った。
- ・ 「不思議と感動の扉を開けて」というテーマでどのような展開をするのかと思ったが、最初に田中館博士と福田繁雄さんの人物紹介があり興味深く入ることができた。
- ・ 生放送と録画が上手に組み合わせられている感じがした。内山くんが二戸の案内をした後に、生放送で録画の中で使っていたオノオレカンバを出したりと、つながりは上手だと思った。
- ・ 各地からの中継ということで、自分も一緒に走り回っているような感覚になり、楽しくもあったがちょっと疲れた。
- ・ 6県+新潟という広域における観光紹介バラエティ生番組として意義があるのではないかと考えて見た。
- ・ 番組の事前PRは一体各地でどのように実施しているのかと思った。画面に出てくる人の数がちょっと寂しいのではないかと感じた。
- ・ 現代の福田繁雄さん、近代の田中館愛橘さんとなれば、近世の九戸氏をもう少し掘り下げてくれればよかったと思った。

TVI 側

- ・ おおまかなコンセプトは、元気を出そう、東北の今を伝えて元気を出そうということです。ですからPRではなく、今何をやっているのかという視点から制作しています。
- ・ バタバタ感については、ディレクター会議で、たまには5局でもいいのではないかという話は出ますが、やはりみんな出ましょう、出しましょうというのがミヤギテレビの意向で、その中で演出・構成上の工夫をしなければならないと思っています。
- ・ PRとしては、番組宣伝を流したり取材先にパンフレット等を置かしてもらっていますが、これから番組宣伝はメイン中継の時は多目に流そうと思います。

7. 審議内容

別載のとおり

8. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特記事項はないが、関連部署に議事録を配布するなど関係者に審議の内容を伝えた。

9. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ・ 自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」

平成22年3月23日(火)午前11時45分～11時52分放送)で、審議の概要を放送。

- ・ 支社・支局に議事録を設置
- ・ 当社のインターネットのホームページで議事録を公開